

市民の声がまっすぐ とどく市政に



吉田 ただお

日本共産党

プロフィール

- 1952年（昭和27年）桜井市生まれ
- 県立桜井商業高校卒
- 桜井市議会議員2期目
文教厚生副委員長、決算特別委員会副委員長
- 党中南和地区常任委員 ○党桜井市委員長
- 桜井市社会保障推進協議会副会長
- 趣味：釣り・登山

くらし応援の 市政へ全力

みなさんの大きなご支援で市議会へ押し上げていただき、この8年間、約600件のご相談を受けてきました。忘れられないのは、1年間公園でホームレスをしていたという50代の女性に生活保護を認めさせ、「冬は寒くて眠れず、死ぬかと思いました。今日から畳の上で安心して眠れます」と安どの声に、共に涙を流したことも…。

国保税は値下げできます

●増え続ける市のためこみ金

国保税を一世帯1万円値下げするためには、9,300万円あればできます。桜井市はリーマンショックの翌年の2009年度から、市民のくらしに大きな影響が出るにも係わらず国保税の14.5%の引き上げをおこないました。それ以来国保会計は、毎年1億円の黒字となっています。2015年2月末現在の財政調整基金（ためこみ金）2億9千万円、国保特別会計繰越金2億1千万円（見込み額）を合わせれば5億円にもなります。これを活用すれば国保税の引き下げは、十分可能です。

高すぎて払えない国保税（4分の一の世帯が滞納）と、生活をおびやかす生活費等の差し押さえが、全国的に大問題になっています。そんな中で桜井市民の負担を少しでも軽減することこそ、自治体の大きな役割です。

日本共産党は提案します

●国の補助をもとせばさらに値下げできる

国保税が高いのは、国が国保への補助を減らしてきたことも大きな原因です。政府は1984年～2012年度の28年間で、市町村国保の総収入にしめる国庫支出金の割合を、50%から24%に半減させました。その結果、加入者に高すぎる国保料（税）が押し付けられているのです。

